

本資料は、第2回総合計画審議会（R4.2.14書面開催）における委員ご意見を踏まえ、一旦の整理をしたものです。

つながる

地域連帯基盤の強化

長野県は一つの家族

強制を伴わない緩い連帯

対話型社会

住民、行政、企業、団体等あらゆる分野でつながり力を合わせる

一人ひとりが大切にされる

共生社会

誰一人取り残さない

包摂性こそ共生社会の原点

公正な社会

互いに認め合える社会

寛容でインクルーシブな社会

個々の価値観が尊重される包容力のある社会

寛容性

多様性と包摂

希望するライフスタイルが実現

生きがいやりがい働
きがいのある社会

思いの叶う社会

ストレスフリーな生活/社会

報われる社会

共につくる、支え合う

協働・共創

郷土愛に満ちた支え合い

参加型社会

世代や分野を超えた協働で、豊かな地域社会の創造

他人を思いやり支え合って暮らせる社会

「豊かさ」を基軸とした持続可能な支えあい社会

市町村が互いに手を取り合って共存共栄

しあわせ

well-being（ウェルビーイング）

県民一人ひとりのウェルビーイングを問い続ける

個人と社会の幸福の循環システム

県民一人ひとりにとって『個人のQOLが実感できる社会』

誰もが地域で安心して活いき暮らし、幸せを実感できる社会

安心

安全・安心

先々に大きな不安のない、笑顔あふれる地域社会

住民が安心して暮らせる

笑顔あふれる 豊かなくらし

柔軟性、弾力性が発揮できる魅力ある、暮らしやすい地域社会

暮らしやすさ

暮らしのゆとり

人間力

主体性・自律性・自己肯定感

不確実な未来に対応できる人間力

文化芸術・スポーツ

持続可能

SDGs 持続可能性

環境と社会的公正を中心とした政策

経済価値—社会価値—環境価値のトータルバランス

社会全体のサステナビリティ・トランスフォーメーション

誇り、郷土愛

日本や世界に誇れる地域

地元への誇りと自信

あこがれの信州

信州を愛し、誇れる

県民一人ひとりが自信と誇りをもつ

脱炭素

脱炭素社会

コロナでダメージを受けた社会のグリーン回帰

循環

循環型社会

食料・エネルギー自給

食糧やエネルギーの自給

地産地消

経済

豊かさ

資本主義の再構築

エシカル消費・経済への移行推進

ヒト、モノ、カネ(投資)のグリーン・トランスフォーメーション